

国際センター通信 (No. 93)

2020 年度 留学生グループ活動紹介

土木学会 国際センター・留学生グループでは、国内で学ぶ留学生の支援、ネットワーク構築を目的に活動を行っている。主な活動は、土木学会全国大会での国際ナショナルサマーシンポジウムや国際若手技術者ワークショップの実施、留学生向け企業説明会の開催、Student Voice (留学生の留学体験エッセイ)の発信である。

今年度で 22 回目を迎える国際ナショナルサマーシンポジウムは、国内で学ぶ留学生の研究発表の場として毎年開催されており、2012 年度の第 14 回から全国大会年次学術講演会の一部として開催している。留学生・若手技術者による英語での発表は、発表者同士の交流はもちろんのこと、研究面での新たなアイデアを得る絶好の機会となっている。また国際ナショナルサマーシンポジウムの一環として、留学生・若手技術者を対象とした「国際若手技術者ワークショップ」を 2013 年から実施している。過去に実施したワークショップでは、技術イノベーションや防災・減災など、その時々土木業界の最新動向を踏まえたテーマ設定をし、国内外から集まる参加者が活発に意見を交わしている。

今年のワークショップは、「Utilization of AI in Civil Engineering for Future Society (未来社会のための土木分野 AI 活用ワークショップ)」と題し、将来の土木分野における AI 技術活用ワークショップの開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、開催は中止となった。留学生・若手技術者にとって、土木業界の最新動向である「AI」をテーマに、自分とは異なる言葉や文化を持つものとディスカッションを行うことは大変ユニークな経験となるだろう。今年は残念ながら中止となったが、来年度の全国大会では同テーマによるワークショップの開催を検討している。多数の留学生・若手技術者が参加することを願う。

加えて、留学生グループでは 2013 年から毎年、日本企業への就職を希望する留学生を対象に企業活動の紹介や就職に関する情報提供を目的として、「留学生向け企業説明会」を開催している。留学生には企業の代表者と直接対話ができる貴重な機会であり、留学生の採用を積極的に考えている企業にも有益なコミュニケーションの場として認識いただいている。

今年度は 2020 年 12 月初旬に開催を予定している。例年、企業紹介プレゼンテーションと企業ブース(個別ディスカッション)の 2 部構成としているが、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活



発表にむけて内容をまとめる参加者
(2019 年度ワークショップ)



企業ブースでの個別面談

様式」の下、企業説明会の新たな実施方法について、オンラインでの開催を想定しながら、議論を進めている。

留学生グループの活動詳細については国際センターHP (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai11/>) をご覧いただきたい。

【記：国際センター・留学生グループ】

-バングラデシュ人民共和国- ダッカ MRT6号線1工区車両基地造成工事

バングラデシュのダッカ都市圏は、世界有数の巨大都市圏であるが、人口や自動車の増加に交通インフラの整備が追いついておらず、交通渋滞が慢性化し、自動車の排気ガスなどによる公害が深刻な問題となっている。このため、公共交通機関への転換による交通混雑の緩和を図るとともにダッカ都市圏の大気汚染を抑制することを目的とし、日本政府の支援により、バングラデシュ初となる本格的な都市高速鉄道路線（約20km、16 駅）が建設されている。本稿で紹介する工事は当鉄道事業における最初の工事として車両基地の土地整備を工期 25 ヶ月で実施したもので、2018 年 10 月に竣工した。主な工種は地盤改良工と盛土工で、地盤改良の対象となる地盤は地表面から約 5m の軟弱細砂層およびその下部の軟弱粘性土層である。上部砂層に対しては液状化対策としてサンドコンパクションパイル工法(SCP)と動圧密工法(DC)、下部粘性土に対しては圧密沈下対策としてサーチャージ盛土工法併用のプラスチックドレーン工 (PVD)が採用されていた。



奥田 光秋
(東急建設(株)
国際事業部)



SCP 施工状況



DC 施工状況

当工事は 2016 年 7 月 1 日に発生したダッカレストラン襲撃事件直後の 9 月 8 日に着工した。着工後は、バングラデシュ政府と日本国大使館が開催する安全対策会議に参加し、安全情報の共有と警備支援等の要請を継続的に行い、現場および宿舍等の安全を継続確保することにより、安全上の問題な

く竣工を迎えることができた。

当社にとって当工事はバングラデシュ国内初の工事であるとともに、高度な安全対策の適用のほか、当地での施工実績が少ない SCP 工法や DC 工法等、施工開始当初から難しい環境下で工事が開始された。施主、コンサルタントによる最大限の支援を得て、工事は所定の工期で終えることができた。ダッカ市内の MRT は、現在施工が行われている 6 号線その他、日本の融資によって 1 号線、5 号線の計画が進められている。当工事の経験が今後のバングラデシュ国内での類似工事に役立ち、バングラデシュの発展の一助となれば幸いである。



完成したダッカ MRT 6 号線 1 工区車両基地造成工事

【記：奥田 光秋（東急建設(株)国際事業部）】

2019 年度土木学会国際関係賞

土木学会賞のうち国際関係の賞である、土木学会国際貢献賞、国際活動奨励賞、国際活動協力賞が、国内外の土木技術者 26 名に授与された。うち海外からは国際貢献賞に 1 名、国際活動協力賞に 5 名、計 6 名が受賞者となった。各賞の受賞者は以下の表のとおりである。

(参考：http://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/p2019.shtml)

なお、土木学会賞授与式は 2020 年 6 月 12 日(金)の定時総会で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止による開催形式の大幅な縮小に伴い、中止となった。

<国際貢献賞> 計 5 名

日本国内外の活動を通じて、国際社会における土木工学の進歩発展あるいは社会資本整備に貢献し、その活動が高く評価された日本人、並びに日本の土木工学の発展あるいは日本の土木技術の国際交流に貢献したと認められた外国人に授与される。

氏名	所属
川上 剛司	(株)IHI 執行役員 社会基盤海洋事業領域 事業領域長
佐藤 浩孝	(株)NIPPO 顧問
傳 暁	大成建設(株) 国際支店 顧問
吉野 清文	朝日航洋(株) 空間情報事業本部・上席理事
Lou Kim Chhun	カンボジア王国シハヌークビル港湾公社総裁

<国際活動奨励賞> 計 16 名

海外における土木工学の進歩発展あるいは社会資本の整備において、現地での土木技術の発展に寄与し、国際貢献への活動が今後とも期待される日本人に授与される。

氏名	所属	氏名	所属
朝倉 功次	(株)IHI インフラシステム 海外プロジェクト室 プロジェクト部 バングラデシュ PJ グループ	郷農 一之	鹿島建設(株) 海外土木事業部土木部生産計画グループ次長
安達 剛	三井住友建設(株) 国際支店ミャンマー連邦共和国バゴ橋作業所副所長	後藤 俊宏	(株)建設技研インターナショナル 水・防災部門 上級技師長
池田 裕二	国土交通省国土技術政策総合研究所 建設マネジメント研究官	酒井 貴之	清水建設(株) 国際支店 アサハン第3水力発電建設所 建設所長
伊澤 良則	(株)安藤・間 国際事業本部 ネパール連邦民主共和国シンズリ道路震災復旧作業所 所長	富永 圭司	(株)大林組 アジア支店土木営業部 副部長
岩田 修	西松建設(株) 国際事業本部香港支店 CKR 立坑出張所 所長	水井 宏征	日本コンサルタンツ(株) インド高速鉄道推進本部 課長
金縄 知樹	(独)国際協力機構 社会基盤・平和構築部参事役兼運輸交通グループ 第一チーム チーム課長	宮田 正史	国土交通 国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施設研究室 室長
嘉門 淳	大日本土木(株) 海外支店 土木部 土木グループ長	山下 秀作	JFE エンジニアリング(株) 社会インフラ本部 海外事業部技術部 計画室長
川口 雅樹	関西電力(株) 水力事業本部計画グループ チーフマネジャー	渡辺 真一郎	大成建設(株) 国際支店 パキスタン N70 号線改修工事課 課長

<国際活動協力賞> 計 5 名

日本国内もしくはその他の国において、日本との交流・協力を通じて土木工学の進歩発展あるいは社会資本整備に寄与し、今後とも活躍が期待される外国人に授与される。

氏名	所属
Sato, Gloria Edullantes	Urban and Regional Development Department Oriental Consultants Global Co., Ltd.
Javed Awan	大成建設(株) 国際支店パキスタン・国道 70 号 改修プロジェクト
Nicholas Sandeep Felix	日本工営 (株) コンサルタント海外事業本部 環境・水資源事業部 水資源エネルギー部参事
Nguyen Hoang Giang	ベトナム国立建設大学 准教授・国際部長、越日先端技術研究所長、越日土木技術者協力促進センター長
Sudarmanto Budi Nugroho	(公財)地球環境戦略研究機関(IGES) 都市タスクフォース リサーチマネジャー

お知らせ

【今後の予定】

- ・第5回 技術者ラウンジ“DOBOKU” (2020年7月17日(金))
「海外 PPP 事業における建設コンサルタントの役割 -東南アジアの中小規模 PPP 事業のケーススタディとして-」
講師：大浦 雅之氏 (株) 長大 事業推進本部事業開発推進部課長 兼 長大フィリピン・コーポレーション社長
<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/175>

- ◆【オンライン開催変更】 IABSE-JSCE 4th Joint Conference, Advances in Bridge Engineering
<http://www.iabse-bd.org/2020/>

- ◆ The 2020 International Conference on Sustainable and innovative Infrastructure (ICSII 2020)
<https://www.icsii.net/>

- ◆ ASCE Lifelines Conference 2021
<https://samueli.ucla.edu/lifelines2021>

- ◆ 第2回 圧入工学に関する国際会議 ICPE 2021
https://www.press-in.org/ja/page/icpe2021_download

- ◆ 「海外インフラプロジェクトアーカイブス (JSCE ウェブサイト 英語版)」: 「ジャカルタ漁港」プロジェクト掲載
<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>

- ◆ 第157回論説(2020年6月版) オピニオン

(1) J R 東日本の鉄道駅乗車人員から考える：
<http://committees.jsce.or.jp/editorial/no157-1>

(2) 建設業においてインフラのデジタルトランスフォーメーション (DX) を実現するためには：
<http://committees.jsce.or.jp/editorial/no157-2>

- ◆ 一般社団法人 海外建設インフラ協会：<http://o-ira.com/>
※「アジア経済新聞」(隔月曜日発行) 土木会館に於いて閲覧可能。

- ◆ jhappy - JICA 無償資金協力事業の今を知る -
Facebook: <https://www.facebook.com/jhappy20161110/>
Twitter: https://twitter.com/jhappy_official

- ◆ 「国際センターだより」※JSCE ウェブサイト (日本語版)
http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_dayori_2020

- ◆ 土木学会誌 2020年7月号 ※JSCE ウェブサイト (英語版)
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>



「いつものまちが博物館になる」
オンライン土木博物館
<http://www.dobohaku.com/ja/>

土木図書館デジタルアーカイブス
<http://www.jsce.or.jp/library/archives/>

配信申し込み

通信をご紹介いただければ幸いです。

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

- ・日本語版：<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>
- ・英語版：<http://www.jsce-int.org/node/150>

英語版 Facebook

国際センターの英語版 Facebook です。直近の国際センターの活動について紹介しています。
(<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】 JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

本通信について皆様のご意見やコメントをお待ちしております。